

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス  
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 網嶋 耕二  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 086-246-0309

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,656	—	1,476	—	1,489	—	834	—
20年3月期第1四半期	7,984	20.4	1,440	△0.6	1,453	0.3	813	0.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	73.68	73.68
20年3月期第1四半期	71.96	71.83

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	27,238	23,252	85.4	2,053.02
20年3月期	27,498	22,933	83.4	2,027.42

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 23,252百万円 20年3月期 22,933百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	26.50	—	51.50	78.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,466	—	3,467	—	3,478	—	1,866	—	165.04
通期	38,514	15.3	7,427	13.1	7,450	13.7	4,049	13.8	358.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 11,388,685株 20年3月期 11,388,685株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 62,613株 20年3月期 76,901株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 11,321,313株 20年3月期第1四半期 11,311,686株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油高をはじめとする資源価格の高騰を背景に企業収益の悪化や設備投資を抑制する動きがみられるなど景況感を徐々に弱めながら推移いたしました。

外食業界におきましても食料品の相次ぐ値上げなどにより家計は節約志向を強め、ガソリン高の影響で郊外型レストランの売上不振に拍車をかけるなど厳しい経営環境でありました。

このような中、当社グループは多業態による外食事業運営を軌道に乗せるべく、既存業態のブラッシュアップによる高収益パッケージの実験継続、直営方式主体による既存業態の着実な新規出店及び新業態実験の推進に努めてまいりました。

新規出店の状況につきましては、ベーカリーレストラン・サンマルク直営2店舗、サンマルクカフェ直営6店舗、すし処函館市場直営3店舗、FC1店舗、計4店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営2店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営4店舗、広東炒飯店直営2店舗、実験中の表参道茶寮直営1店舗、神戸元町ドリア直営2店舗を出店し、これにより当社グループ全業態の第1四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店375店舗、フランチャイズ店156店舗、合計531店舗体制となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高86億56百万円、経常利益14億89百万円、当期純利益8億34百万円となりました。

事業部門別の業績等は次のとおりであります。

サンマルク事業部門売上高は10億81百万円、営業利益は3億83百万円となりました。

サンマルクカフェ事業部門売上高は37億1百万円、営業利益は6億56百万円となりました。

函館市場事業部門売上高は8億76百万円、営業利益は2億26百万円となりました。

バケット事業部門売上高は10億55百万円、営業利益は1億41百万円となりました。

鎌倉パスタ事業部門売上高は14億30百万円、営業利益は2億55百万円となりました。

広東炒飯店事業部門売上高は3億20百万円、営業利益は42百万円となりました。

事業統括管理部門売上高は1億89百万円、営業損失は2億30百万円となりました。

(注) 当社は、平成20年4月1日付にて炒飯専門店の広東炒飯店事業を本格展開事業として会社分割することとし、当社100%子会社として(株)広東炒飯店を設立しております。なお、同社は平成20年7月1日付にて(株)サンマルクチャイナに商号変更しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は、総資産は272億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億60百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は73億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して18億87百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の支払等に伴い現金及び預金が16億90百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は199億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億27百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が12億50百万円、敷金・保証金が1億50百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は33億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億31百万円の減少となりました。これは未払法人税等が9億36百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、6億3百万円で前連結会計年度末と比較して3億51百万円の増加となりました。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して3億18百万円増加して232億52百万円となりました。この結果、自己資本比率は85.4%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は4億49百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益が14億81百万円でその減少の主なものは法人税等の支払額15億8百万円であります。投資活動におきましては17億68百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産14億90百万円、その他の投資3億37百万円の取得に伴う支出であります。財務活動におきましては3億83百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払額4億33百万円であります。これらの結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して16億90百万円減少し、当第1四半期末の残高は53億62百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料高等を背景に消費環境の好転は難しく、当社グループにおいても厳しい経営環境が続くことが予想されます。

しかしながら、当第1四半期の業績は概ね順調に推移しており、今後の各業態の営業施策等により、平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。また、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,362,130	7,052,857
売掛金	1,517,210	1,650,933
商品	659	778
原材料	69,214	63,336
貯蔵品	64,893	62,658
その他	311,996	383,349
貸倒引当金	△12,904	△13,179
流動資産合計	7,313,199	9,200,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,032,757	8,782,528
土地	2,267,873	2,267,873
その他	421,424	327,467
有形固定資産合計	12,722,055	11,377,869
無形固定資産		
その他	93,638	97,110
無形固定資産合計	93,638	97,110
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,786,070	5,635,860
その他	1,323,763	1,187,277
投資その他の資産合計	7,109,833	6,823,137
固定資産合計	19,925,526	18,298,117
資産合計	27,238,726	27,498,852
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,026,438	1,091,288
未払金	1,349,867	1,360,995
未払法人税等	533,255	1,469,851
引当金	55,290	41,240
その他	417,777	350,311
流動負債合計	3,382,628	4,313,686
固定負債		
引当金	41,499	39,332
その他	561,890	212,116
固定負債合計	603,389	251,448
負債合計	3,986,018	4,565,135

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	18,609,770	18,347,470
自己株式	△174,912	△214,804
株主資本合計	23,204,835	22,902,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,873	31,072
評価・換算差額等合計	47,873	31,072
純資産合計	23,252,708	22,933,716
負債純資産合計	27,238,726	27,498,852

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	8,656,893
売上原価	1,999,478
売上総利益	6,657,414
販売費及び一般管理費	5,181,318
営業利益	1,476,096
営業外収益	
受取利息	645
受取配当金	2,345
受取賃貸料	25,530
為替差益	11,223
その他	2,897
営業外収益合計	42,642
営業外費用	
支払賃借料	23,193
持分法による投資損失	3,380
その他	2,991
営業外費用合計	29,566
経常利益	1,489,173
特別利益	
貸倒引当金戻入額	358
特別利益合計	358
特別損失	
固定資産除却損	8,302
特別損失合計	8,302
税金等調整前四半期純利益	1,481,228
法人税、住民税及び事業税	571,900
法人税等調整額	75,136
法人税等合計	647,036
四半期純利益	834,192

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,481,228
減価償却費	244,547
その他の引当金の増減額 (△は減少)	16,217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△275
受取利息及び受取配当金	△2,991
為替差損益 (△は益)	△11,223
持分法による投資損益 (△は益)	3,380
固定資産除却損	8,302
売上債権の増減額 (△は増加)	133,722
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,993
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64,850
未払金の増減額 (△は減少)	△244,232
その他	399,874
小計	1,955,709
利息及び配当金の受取額	2,389
法人税等の支払額	△1,508,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,490,295
有形固定資産の売却による収入	5,133
無形固定資産の取得による支出	△1,545
投資有価証券の取得による支出	△88
その他	△281,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,768,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△51
自己株式の売却による収入	50,607
配当金の支払額	△433,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,690,727
現金及び現金同等物の期首残高	7,052,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,362,130

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社グループは、外食事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高は10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	7,984,835
II 売上原価	1,924,378
売上総利益	6,060,457
III 販売費及び一般管理費	4,619,946
営業利益	1,440,510
IV 営業外収益	35,166
受取利息	897
受取配当金	1,109
受取賃貸料	20,817
為替差益	9,349
その他	2,992
V 営業外費用	22,348
支払賃借料	17,505
持分法による投資損失	1,348
その他	3,494
経常利益	1,453,328
VI 特別利益	177
その他	177
VII 特別損失	12,084
固定資産除却損	12,084
税金等調整前四半期純利益	1,441,421
法人税、住民税及び事業税	531,600
法人税等調整額	95,875
四半期純利益	813,946

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金調整前四半期純利益	1,441,421
減価償却費	187,008
その他の引当金の増加額	8,440
貸倒引当金の増加額	△145
受取利息及び受取配当金	△2,006
為替差益	△9,349
持分法による投資損失	1,348
固定資産除却損	12,084
売上債権の減少額	117,853
たな卸資産の増加額	△9,067
仕入債務の減少額	△71,336
未払金の減少額	△27,388
その他	38,187
小計	1,687,050
利息及び配当金の受取額	1,133
法人税等の支払額	△1,626,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,000
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,290,201
無形固定資産の取得による支出	△663
投資有価証券の取得による支出	△100,002
投資有価証券の売却による収入	15,374
その他	△276,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,651,586
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△560
自己株式の売却による収入	4,428
配当金の支払額	△344,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341,125
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	9,349
V 現金及び現金同等物の減少額	△1,921,362
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,031,131
VII 現金及び現金同等物の期末残高	5,109,768

## (3) 仕入及び販売の状況

## a. 部門別仕入実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
サンマルク	331,579	— %
サンマルクカフェ	775,478	—
函館市場	236,268	—
バケット	260,905	—
鎌倉パスタ	293,823	—
広東炒飯店	68,071	—
事業統括管理	40,696	—
合計	2,006,823	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## b. 部門別販売実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
サンマルク	1,081,841	— %
サンマルクカフェ	3,701,949	—
函館市場	876,119	—
バケット	1,055,900	—
鎌倉パスタ	1,430,977	—
広東炒飯店	320,348	—
事業統括管理	189,757	—
合計	8,656,893	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## c. 種類別販売実績

(単位：千円)

種類別 事業部門別	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
サンマルク	476,793	—	189,066	—	415,981	—	1,081,841	—
サンマルクカフェ	3,596,022	—	8,206	—	97,721	—	3,701,949	—
函館市場	625,795	—	103,070	—	147,253	—	876,119	—
バケット	1,033,323	—	1,555	—	21,021	—	1,055,900	—
鎌倉パスタ	1,408,079	—	—	—	22,898	—	1,430,977	—
広東炒飯店	315,458	—	—	—	4,890	—	320,348	—
事業統括管理	186,125	—	—	—	3,631	—	189,757	—
合計	7,641,596	—	301,898	—	713,398	—	8,656,893	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。